

学校法人内丸学園
盛岡幼稚園

園報

第264号
(3月)
2023

育って欲しい「10の姿」

学校法人内丸学園 理事長 坂本 洋

陽春の訪れが待ち遠しいこの頃です。間もなく百十五回目の卒業証書授与式を迎えますが、年長園児は、自信に満ち笑顔いっぱい「遊びが学び」の幼稚園生活を楽しんでおります。さて自信に満ちた園児、何がどう育つたでしょう。

平成三十年度から、新しい幼児期の教育・保育要領のもと、次代に備えた共通の新しい指針が示され、子ども達の育ちの成果が期待されています。その基本は、幼児期には、それぞれに「三歳からは同じ教育」の機能、「子ども主体の学びが重要」であること、そして「幼児期の終わり

までに育って欲しい10の姿」が具体的に示され、その育ちが小学校教育への円滑な接続となることが強調されております。

さて、10の育って欲しい姿ですが、まずは「健康な心と体」、そして「自立心」の育ちです。早寝早起き、しっかりと食事を摂り生活のリズムを通して、自分でしなければならぬことを行えるよう努力する。また色々な活動や遊びにおいて、自分の力で何とかやり遂げる体験を通して、満足感や達成感を味わう。更には「協同性」。人との関わりから相手の気持ちや考えに気づき、我慢したり、気持ちを切り

替えたりしながら、わかり合う育ち。続いて「道徳性や規範意識の芽生え」友達と気持ちよく過ごすために、して良いこと悪いことの区別に気づき、遊びや活動において楽しく過ごすために決まりやルールがあることが分かり、守ろうとする姿の育ち。

そしてそれは「社会生活との関わり」でとても大事な対人関係の基本であることが育ちます。

加えて学びの基本は、物との多様な関わりの中でその性質や仕組みなど自らその不思議に気づき考える「思考力の芽生え」が大切で、それが「数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚」を含み、子ども自身がじっくり考えることを習慣づける。ただ覚えるのではなく、興味をもって主体的にかかわる姿。同時に自然の不思議や感動を体験し、身近な動物や植物のお世話や生きていくものへの愛着、命の不思議さや尊さに気づく姿。「自然とのかかわり」「生命の尊重」。

この様な子ども達同士の主体的な活動や遊びは、互いの思いや考えを相手に分かるように話したり情報を交換するなどして、

言葉を通して心を通わせる営みとなり、文字を覚える必要性を感じ、文字を読んだり書いたりする「言葉による伝え合い」の育ち。更には友達同士で互いに感じたことや考えたことを自由に表現し合う「豊かな感性と表現」に発展する姿となります。

毎年の卒園児は、この様な姿をしつかり身に付け小学校入学となるよう願っております。当園では年少児クラスから年間の活動指導計画の中に10の姿の育ちを具体的に取り入れ、その流れをポートフォリオ風にして毎年度保護者の方々にもご説明して、ご家庭での育ちの参考として連携できればと考えております。ご協力をお願いいたします。



みんなで楽しく！



卒業おめでとう!
Aクラス担任 面来 千夏

Aクラスで過ごす日々も数える程度になってきました。進級したばかりの四月に比べて心も体も一回り大きくなった子ども達を見てみると、とても成長を感じます。

今年には盛岡幼稚園創立百十五周年という節目の年でもありました。園旗を先頭に堂々と入場した運動会。みんなのアイデアが詰まった「百十五しゅうねんおめでとうケーキ」を作った作品展。その他にもAクラスとして活躍の場がたくさんあり、その度にみんなで力を合わせて頑張る姿を見せてくれました。担任として子ども達の近くでそのような姿を見ることができ、嬉しく思います。

卒業式で歌う「ともだちになるために」は今まで出会った人、そしてこれから出会う人みんなが友達という思いが込められた歌です。Aクラスみんなには喧嘩することがあっても、ごめんねを言えたり、友達を許してあげられたり



みんなが輝いた一年間
Bクラス担任 瀧山 茉保

Bクラスになったことを喜んでたくさんの方に挑戦していた春から、早くも一年が経とうとしています。一年を振り返ると、誕生会で『ぼくのミックスジュース』

を歌ったこと、運動会で海賊になりきって踊ったこと、豆まき会で鬼のダンスをしたこと、先日の保育参観でオペレッタをしたことなど、楽しい行事を経て子ども達なりに緊張しながらも挑戦し、Bクラスみんなで頑張れたことが自信につながっていました。子ども達の表情も一つの行事を経験するごとにどんどん頼もしく変わっていくのが分かります、個人としてもBクラス全体としても大きな成長を感じています。行事を終え達成感を感じている子ども達にとつて、保護者の方に褒めてもらえたことも、大きな心の支えになっていました。普段の遊びでは、ごっこ遊び、鬼ごっこなど友達と一緒に遊ぶこともたくさんありました。少

人数が始まって、遊んでいる声を聞いて「入れてー！」と他の子どもも入って来て、最終的にたくさん的人数で遊びました。楽しいことを見つけて、みんな汗をかいて思い切り遊ぶことができたことも良い思い出です。保護者の方には様々な面でご理解とご協力を頂き感謝いたします。次はいよいよAクラスです。子ども達らしく、元気いっぱいいろいろなことに挑戦して成長していく姿が楽しみです。ありがとうございました。

仲良くなれたね!
Cクラス担任 竹岡 真美

入園式の写真に写っているのは、緊張した様子で、まだあどけない表情のみんな。エプロンも真っ白で、少し大きめでした。そこから一年。笑ったり泣いたり、時には怒ったりもしながら、みんなで賑やかに過ごしてきました。毎日の遊びや生活、行事を通していろいろな経験をし、一人ひとりが大きくなりました。



Aクラスのみんな ざーつと友達☆

する優しい心を持っています。いつまでもその優しい心を忘れずに小学校でもたくさんさんの友達を作ってください。幼稚園を卒業してもAクラスのみんなはいつまでも友達です。そして先生達もずっとみんなの味方です。小学校でもみんなもっと輝きますように☆応援しています!最後になりましたが、子ども達の園生活を温かく見守り、支えてくださった保護者の方に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

早く一緒に遊びたくて友達が登園してくるのを「まだかな？」と待っていたり、泣いている友達に「大丈夫だよ」と優しく声を掛けて慰めてくれたり、友達と笑い合いながら楽しそうに遊んでいたりする姿を見ると、この一年でクラス友達と仲良くなれたことが分かり、嬉しく思います。

二月に保育参観でお見せした劇ごっこ『おおきななな』は、みんなで力を合わせると大きな力になるというお話。クラスみんなで楽しみながら一つのお話を表現できたことも、大きな成長だと感じました。これからも友達と力を合わせ、幼稚園生活を楽しみながら大きくなってほしいと思います。

次はピンクバッジのBクラスさん。みんなより小さなお友達も入ってきます。お兄さん・お姉さんになるみんなのこれからが楽しみです。



ともだち できたね

C2クラス担任 石田 雪乃

先月の保育参観で、お家の方に劇ごっこを披露した子ども達。自分で選んだ役になりきり楽しむ姿に成長を感じながらも、最後に安心してお家の方に駆け寄りたり、我慢していた涙を流したりする姿をみて、今までもたくさん勇気を出して過ごしてきたんだろうなと思います。

初めてのことが溢れていた一年。どうしたら不安や緊張が取れるだろうか、笑顔でその子らしく過ごせるだろうか。あれこれ考えながら関わってきましたが、やっぱり友達の存在が大切だと感じる日々でした。一学期は一人でじっくり遊んでいた子達も、今では自分から友達に声をかけて同じ遊びを楽しんだり、お休みの子がいると「会いたかったな〜！」と気にかけていたりしています。時には、怒ったり泣いたり、大好きな友達とケンカをしたこともありましたが、自分の気持ちを声や言葉で伝えることで精一杯だったけれど、少しずつ友達の思いにも気づいて聞けるようになり、心の成長も感

じています。大好きな友達が近くにいてくれたから踏み出せた一歩もたくさんあったと思います。Cクラスでの経験が勇気となり、自信となり、元気にBクラスへと進む糧になってもらえたら幸いです。これからさらに大きく成長していくことを楽しみにしています！

みんな大きくなったね!

つぼみクラス担任 齊藤 綾

小さい体で不安をたくさん抱えながら過ごした四月。お父さん、お母さんと離れた後には大泣きだった子どもたちも園生活に少しずつ慣れていく中で泣き顔が笑顔に変わり、その様子が嬉しさを感じながら過ごしていました。まだたどたどしい言葉ながらも、一生懸命話をしようしたり、時には癩癩を起しながらも「自分で」と身の回りのことをやってみようとしたりと子どもたちの成長ぶりに驚かされることも多い毎日。特に、初めて「せんせい」と呼ばれた時には幸せな気持ちになりました。今では、友だちの存在も大きくなり、名前を呼んだり傍で同じ遊びをしたりすることも楽しくな

り、そんな姿も微笑ましいです。この一年の中で、たくさんのお友だちと経験をしたり子どもたち。ドキドキしたりワクワクしたり様々な表情の子どもたちを一人ひとり傍で見守ることができたことに喜びを感じています。怒ったり泣いたりしながらも自分の気持ちを出せるようになり、毎日賑やかに過ごしているつぼみクラスの生活も残りわずかとなりました。二歳児クラスへ進級し、ますます成長していく子どもたちを見ることが今からとても楽しみです。一人ひとりのペースでゆっくり成長していったほしいなと思っています。



一緒に楽しんでいるね!

保護者の方から

さらば、オムツ

いちごクラス 上澤田 葵(茉央)

朝食のパンを食べやすいように切ったら、切らないでよ！もう食べない！と怒って泣いて。着替えを用意したら、この服いやだ！着ない！と泣き叫び。学校行く時間だよ。遅刻するよ！と言っても、いつまで経ってもパジャマ姿。これが三歳五歳七歳の我が家のモーニングルーティーンです。親の思うようにはいかず、職場に着く頃には体力気力共にゼロです。

でも。ふとした瞬間に子どもたちの成長を感じ、自分で出来る“が増える度に嬉しく思います。同時に、長男が生まれてからずっと買っていたオムツも、小さい子供の絵本や服も買う事もなくなりません。五年間通った保育部の入口ももうすぐ卒業です。子育ての一つのステージが終わるような気がして、寂しくも感じます。振り返ると、慣れない育児と仕事との両立や長男の転入、そして茉央のICUへの緊急入院など、不安で苦し

い時、いつも先生方が寄り添い支えてくださいました。子どもたちが元気に登園し、迎えに行くとき、今日はこんな事をしたよ！」と笑顔で話してくれる。今、が幸せで、感謝の気持ちでいっぱいです。子どももヒイー!!ひいー!?言いながらの全力疾走の毎日ですが、子どもと一緒に、親も少しでも成長していけたらいいなあと思います。

保育参観までの成長の日々

Bクラス 今井 佳子(美桜)

保育参観は前回欠席した為、今回が初めてということもあり、とても楽しみにしていました。

先生から、『ともだちほしなおおかみくん』のオペレッタのお話を聞き、娘に、「何の役をやるの?」と聞くと、「うさぎさんだよ!」と嬉しそうに答えてくれました。「保育参観はママも見に行くんだよ。」と話す、「え?ママ見に来るの?」と驚いた様子でしたが、その日から毎日、「今日もダンスの練習したよ!」と話したり、家でも歌やダンスを見せてくれるようになりました。その様子がとても楽しそうで、当日がとても楽しみでした。



ともだちほしなおおかみくん

そして当日、娘はいつも通り張り切って登園。幼稚園のホールに入ると、椅子が並べてあり、入園式のことをふと思い出しました。本番が始まり、子供たちが登場。娘も周りを気にしながらキョロキョロしている様子でしたが、劇が始まると、それぞれの役に集中し、楽しそうに演じていました。お友達と力を合わせて一緒に頑張る姿を見ることが出来、入園の日からの成長を感じられ、とても素晴らしい日になりました。子供達と共に素晴らしい題材を選び、日々進めて下さった先生方、本当にありがとうございます。

編集後記

暖かな日差しに春の訪れを感じ一年を振り返る大事な時期を迎えました。コロナの話題も少しずつ減り、明るい兆しが見え始めてきました。子ども達はこれまでの経験を基に自信をもって生活している姿が見受けられます。一人ひとりの成長を認め、さらなる成長へと繋がるように見守っていきたいと思います。コロナの渦中で過ぎてきた年長児もこの春をもって卒業します。幼稚園時代を共に一緒に過ごした友だちを忘れずに自分らしく堂々と新しい環境に向かってほしいと願っています。創立百十五周年だった今年度も保護者の皆様はもろんのこと沢山の方に支えられた一年となりました。感謝申し上げます。

学校法人 内丸学園
幼保連携型認定こども園
盛岡幼稚園
〒020-0101
盛岡市中央通一六四七
TEL 六二二二二三〇一
理事長 坂本 洋